

386) 心の葉 11.7.4

今はもう写真でしか 君に逢えない
短い夏を君と暮らして 子供のように心かよった
君のつぶらな黒い瞳が ぼくの心を今でも照らす

君の笑顔は夏のページに そっと挟んだ心の葉

今はもう写真でしか 君に逢えない
とおりに過ぎてく季節の中で 真夏の影を追いかけていた
くじゅうくりはましおさい
九十九里浜潮騒の音 今でもぼくの耳にささやく

君の笑顔は夏のページに そっと挟んだ心の葉

今はもう写真でしか 君に逢えない
記憶の中でいつでも君は 僕を見つめて微笑んでいる
君の綺麗な後ろ姿が 渚の風にかすかに揺れる

君の笑顔は夏のページに そっと挟んだ心の葉

今はもう写真でしか 君に逢えない
この果てしない地球の上で ふたり出逢って離れていった
もう還らない遠いあの日は 僕達だけの夏の日の夢

君の笑顔は夏のページに そっと挟んだ心の葉

君の笑顔は夏のページに そっと挟んだ心の葉

